

非抵抗性 殺菌殺虫剤

果菜類・麦類・花き類・植木・日本芝の病害虫防除に!!

農林水産省登録
第9625号

抗菌
抗虫

サンヨール[®]

乳剤

有効成分：ドデシルベンゼンスルホン酸ビスエチレンジアミン銅錯塩(II) 20%

サンヨール[®]乳剤は
殺菌及び殺虫の併殺効果が期待できます。

特 長

- ① 野菜、花き類等のうどんこ病、べと病、灰色かび病、葉かび病、黒斑病及び褐斑病に優れた効果を発揮し、耐性が生じ難く、又アブラムシ類、ハダニ類、コナジラミ類、チュウレンジハバチ、ツツジグンバイ、及びナメクジ等にも物理的作用により殺虫する、有機銅系の殺菌剤です。
- ② 果実、花及び葉に対し汚染がなく新鮮さが増し、薬害が少なく、人畜に対する毒性も極めて低く、カブレの心配もありません。
- ③ 展着性が非常に良好で作物及び菌体・虫体に対し、強い付着性があります。
- ④ 施設内の有用昆虫、ミツバチ、マルハナバチに対し当日散布でも影響はありません。
- ⑤ アブラムシ類、ハダニ類、コナジラミ類、チュウレンジハバチ、ツツジグンバイに対し気門閉塞による物理的殺虫作用につき耐性が生じ難い。
- ⑥ 耐性が生じた他剤と本剤との混用により、相乗作用を発揮して薬効が増します。
- ⑦ 主剤は化学的、物理的にかなり安定であり、保存がききます。

使用 方 法

400～1000倍(ナメクジ250～500倍)液を病害虫の発生初期より5～7日間隔で作物に十分量全面散布してください。

サンヨール乳剤を農作物に使用することにより、殺菌及び殺虫の併殺効果が期待できます。

原体・製剤 製造元

YCC 米澤化学株式会社

サンヨール（農林水産省登録第 9625 号） 令和 2 年 6 月 10 日付 登録変更後の適用表

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	DBEDC を含む農薬の総使用回数
さやえんどう 実えんどう	うどんこ病 灰色かび病	500 倍	100～ 300L/10a	収穫前日 まで	4 回以内	散布	4 回以内
なす	うどんこ病 すすかび病	700 倍					
トマト ミニトマト	葉かび病 灰色かび病 コナジラミ類 アブラムシ類 ハダニ類	500 倍					
	うどんこ病	500～ 700 倍					
ピーマン 甘長とうからし	うどんこ病 アブラムシ類	500 倍					
きゅうり	べと病 うどんこ病 コナジラミ類 アブラムシ類 ハダニ類						
	すいか メロン うり類（真物用） にがうり						
かぼちゃ ズッキーニ	うどんこ病						
いちご	うどんこ病	800 倍	—	定植前	1 回	瞬間～ 5 分間苗浸漬	6 回以内 (定植前の苗浸漬 は 1 回以内)
		500～ 1000 倍				5 分間苗浸漬	
花き類・観葉植物 (きく、ばら、ベチュ ニア、スターチス、プリムラ、 パンジーを除く)	うどんこ病 灰色かび病 アブラムシ類 ハダニ類	500 倍	100～ 300L/10a	発生初期	8 回以内	散布	8 回以内
きく	うどんこ病 褐斑病 灰色かび病 白さび病 黒斑病 アブラムシ類 ハダニ類						
ばら	うどんこ病						
	灰色かび病 黒星病 アブラムシ類 ハダニ類 チュウジツハチ	500 倍					
ベチュニア	うどんこ病 灰色かび病 アブラムシ類 ハダニ類	500 倍	100～ 300L/10a	開花期ま で	8 回以内	散布	8 回以内
	ナメクジ類	250～ 500 倍					
スターチス プリムラ パンジー	うどんこ病 灰色かび病 アブラムシ類 ハダニ類	500 倍	200～ 700L/10a	発生初期	2 回以内	8 回以内	8 回以内
樹木類(つつじ類 を除く)	うどんこ病 アブラムシ類						
つつじ類	ツツジグンバイ ツツジコナジラミ うどんこ病 アブラムシ類						
たばこ	うどんこ病	25～ 180L/10a	—	—	2 回以内	2 回以内	
日本芝	葉腐病(ラジバチ) さび病	300～ 500 倍	0.5L/m ²	発生初期	8 回以内	8 回以内	